

市民レポーターの皆さんが、市内のさまざまな場所に出かけて、市民ならではの視点から小牧の魅力や身近な話題について取材した様子を、毎月紹介していくコーナーです!

REPORT 221

## 小牧山で発見! 明治より続く創垂館!

小牧山山麓にある小牧市青年の家を奥に進むと見えてくるのは、創垂館。明治時代、県の迎賓館として建てられました。現在は市民へと開放され、一般利用や見学ができます。「どのような歴史があるのか、どういった形で利用できるのか」、小牧山課の浅野友昭さんに話を聞いてきました。

ました。昭和39年からは青年の家の付属施設となりましたが、老朽化により平成24年から利用停止に。令和2年からできるだけ当時の姿を復元しようとして修理工事を始め、一昨年完了。令和4年度から一般公開しています。

### 創垂館の概要など

創垂館は、正面間口に2間の玄関があり、その奥に10畳の「十畳」、10畳の「次の間」、16畳の「主座敷」があります。定員は最大62名。外観は創建



主座敷の佇まい。お茶を点てる炉もあります。

創垂館は明治21年、愛知県により、迎賓館の機能を持つ施設として、小牧山山頂付近に建てられました。翌年に、小牧山と創垂館は、明治政府から尾張徳川家に払い下げられ、同年6月には旧藩士を招いた園遊会が開催されました。昭和5年に尾張徳川家第19代当主義親氏から小牧町に小牧山とともに寄付され、昭和24年に山麓の現在地へ移築。町立小牧中学校の作法室として利用されてい

台所です。IHヒーターも完備です。



時の姿ですが、台所やトイレなどの水回りは現代仕様で、空調設備も完備しています。館内では飲食が可能で、机やいすなどの備品も貸出可能です。

魅力を知ってもらい、利用してほしい

今まで、お茶会やおは



入口。タイルが張られお洒落です。



主座敷。電源も完備されています。

創垂館  
場所：堀の内1-2  
電話：76-3718（青年の家）  
開館時間：午前8時30分～午後4時30分  
休館日：木曜日  
（祝日の場合は、その直後の平日）  
※見学は随時、青年の家まで、使用に関しては、右QRコードをご確認ください。



つきー

### 編集後記

創建当時の瓦やタイル、供待所などで明治を感じることができ、興味深いお話も聞くことができ、歴史好きは私としてはとても楽しい取材でした。「君子創業垂統為可継也」と名前の由来が書かれた明治の書も必見です。

なし会などが行われてきました。担当の浅野さんは「より多くの皆さんに知ってもらい、利用してもらえると嬉しいです」と話します。  
まずは、遠足などで、子どもたちに歴史を学びながら気軽に見学してもらったり、小牧山に遊びに来た人に立ち寄ってもらえるといいですね。使いはいろいろだと思いますが、歴史的建造物だけに大切に使うしてほしいですね。

# 町工場から生まれた 純チタン製アクセサリー

志村プレス工業所内に併設されたTi-iro（チイロ）のショールームで、企画・製作・販売担当の志村芳恵さんに純チタン製アクセサリーの魅力をたっぷり語ってもらいました。Ti-iroの名前の由来は、チタンの元素記号「Ti」とチタンによって発色する「i-iro」から名付けたそうです。



工場内に作られたショールーム

もともと機械部品の会社で、社長が、溶接をしている社員の作業を見ていると、素材に熱が加わることによって色が変わることに気がつきました。チタンは高価だが強度が高い上、水や汗にも強く、

錆びにくい。そして磁性もないことから医療用としても使われているほど。チタンを扱い加工するのは難しいが「誰もやっていないのならやってみよう」という社長の思いと社員の加工技術のスキルアップにもつながるだろうという思いから試行錯誤の挑戦が始まりました。

## 肌に優しく軽い

チイロのアクセサリーは純チタン製で合金や他の金属は混ぜていないので、肌に優しく金属アレルギーをおこしにくいそうです。何より軽くて着け心地も驚くほど。有機物を使用せず、チタン自身の持つ光触媒で発色しており、安心なもの

魅力です。

全て手作業なので時間はかかりますが、一つずつ色が違い、同じ物は2つとできません。

「色が、わがまま」すぎて思うようにいかないところがまた良いところ」と志村さん。自社で作ったチタンのパーツをお客さんの好みで組み合わせ購入も可能。

こだわって作っているのでデザインや技術を気に入って買ってもらえたら、購入後のアフターフォローは永久です。インターネットでの販売が主ですが「ショールームやイベントは実際に作品を見て選んでもらえるのが良いですね」と志村さんは話します。

商品を入れる素敵な



一つ一つ大切に手作りをしています。

企画・制作、販売までこなす志村さん



パッケージはディスプレイ時も活用できる画期的なものになっており、特許も取得しているそうです。プレゼント用のパッケージには、広島県原爆ドームで飾られていた折り鶴を混ぜた素材を使っているそうです。

## 立ち上げる5年目、今後の目標は？

もっとたくさんのお客さんにチタンアクセサリーを手にとってもらいたいので、地方のイベントにも積極的に出店することが目標です。

ふるさと納税の返礼品のレパートリーも増やしたいそうです。

社長の方針で、現在チイロの売り上げは全て寄付しているとのことですが「今は会社の中のアクセサリー部門ですが、事

業化して、会社のメイン事業の一つになるのが理想であり、目標です。焦らずゆっくり、でも急ぎつつ技術を磨き、営業トークも磨きたい」と笑顔いっぱい話してくれました。



パッケージにもこだわりが…

## 編集後記

あんみつ

本当に繊細で輝きもあり、デザインがとても素敵。軽くてゆらゆら揺れるのがまたかわいいなあ。男性もつけられそうな個性的なデザインもありました。長年培った技術力+遊び心から生まれた発想、素晴らしいです。

## 今回の取材先

Ti-iro (チイロ)  
志村プレス工業所内

場所：三ツ刈原新田371-1  
電話：77-0135  
休業日：土、日曜日、他イベント出店時  
※ショールームへお越しの際は、事前連絡をお願いします。

